

あだたら

新行所 坂本松市ノ杖
あだたら山の会
編集 部

●編集部連絡先
二本松市郡内1-5-15
0243(22)4245
渡辺 正

新年おめでとーございませす

昨年は一月の冬山パトロールに始まり暮れの高倉山高松山行まで、会の様々な行事に多数の会員の皆さんに参加いただきました。有難うございました。

天候の不順や参加メンバーの都合等で延期や中止になったこともありましたが無事に新年を迎えることができ喜んでいきます。

今年には会創立六十周年の節目の年となります。時代と共に山行形態は変化しているようですが、「楽しく安全に山登りをして帰宅する」と言う指針は不変です。

今年も多くのお客様が主体的に諸々の山行や行事に関わって頂くことを心よりお願いいたします。私達役員一同も記念事業等の企画をなるべく早く提案させていただきますので楽しみにお待ちください。

会員の皆様方のご健康と安全登山、そして安達太良に入山されるすべてのハイカークの無事下山を祈念申し上げます。

二〇一八(平成三十)年 元旦
あだたら山の会会長 青木幹夫

十二月九日(土)

装備点検・忘年会

報告 編集部

平成二十九年の装備点検 二時半から阿部健さん宅では十二月九日(土)午後実施されました。装備が格

納されているロッカーの前で、スノーシューや整備作業用ヘルメット、クライミング用品、幕営用品等の状態・数量の点検を行いました。会員十三名が参加しま



装備点検に 参加した会員



装備点検 テントと付属品の点検



カラアゲ調理中



会長挨拶です

午後六時から忘年会、会場はアットホーム大玉コテージは「太陽」と「火星」、太陽が男性用で宴会場ともなりました。午後五時から会員が集まり始め、料理の準備、抽選会の準備が始まりました。料理は青木会長の指導の下、ト
リカラアゲ・マグロタコぶつ切り・炒め飯・ツケモノあとは乾き物等。午後六時半から椎原副会長の挨拶で忘年会が開始されました。翌朝の朝食などは記事写真とも無しです(謝)。会員十九名(うち女性六名)が参加しました。

十二月十四日 (木) 高倉山・高松山 岩角山

報告 中脇ゆき子



高松山三角点 336.4m

国道四号線上り。日和田... 付近の阿武隈川と五百川に挟まれた里山。いにしえの城跡という高倉山。前日の雪が残る山道を足下に注意しながら登る事十五分、あっけなく城跡に着いた。周囲は杉と竹林で展望ゼロ。館があったと思われる台地には折れた竹などがかぶさり寂寥感が漂う。すぐに下りて高松山へ向かう。車で数分。こちらはお寺の裏山と言った趣き。墓地の中を歩く。程なく三角点を確認。陽だまりの土手で昼食。師走とは思えぬ ほのぼの

感。桜の季節に家族連れでハイキングがお薦め。昼食を済ませて午後一時。帰るには早すぎる。そこで岩角山へ行くことに。標高三三七の巨石の山だ。しかもその巨石の一つ一つに観世音・菩薩などが線刻されている。非常にシンプルな線が何と美しいこと。巨石の間を通り抜け、苔むした石を見上げながら高台へ着く。ここは 丹羽の殿様がお立ちになったというところ。領民の暮らしを思いつつ、眺められたのだろうか。



国道4号朝日ビールあたりからの高倉山



高倉山頂は林の中

ここからはアダタラが見えるはず・・・が惜しい！アダタラサマは雲をかぶって寝んで(やすんで)居られた。二本松駅を十時に出発して三山を巡り、帰着は午後三時。今年最後の山行終了。

一月八日 (月) 救急救命講習会

報告 編集部



集合午前八時五十分、会場は消防本部。午前九時から三時間。前回は三年前平成二十七年の二月、郭内の勤労者研修センターで行いました(会報三一八号)。まずは「救命措置の手順」、周囲の安全確認、反応確認、一一九通報とAED依頼、呼吸確認、胸骨圧迫・人工呼吸まで。ビデオで手順を学んだ後は、これを繰り返し練習しました。休憩の後は AEDの操作と、先の「救命措置」からAED迄の一連の動作を実習。最後には二人組で一連の措置を実施、消防職員から参加者全員に講評をいただきました。会員外一名を含め十名が参加しました。



小屋のAED

十二月二十二日 (金) 小野町・日影山

報告 菅野善雄



今年も残すところ少なくなった十二月二十二日妻と日影山へ。石城山岳会六十年記念誌を参考に三三九国道を小野町へ。東堂山方面に入り、東堂山入口手前を右へ町道に入る。臨床研究牧場向いが登山口になる。駐車場がないので路上駐車になる。日影山登山口の看板から林道に入る。杉林・雑木林の中を一キロくらい登ると水場がある。この先は四WDの車でも無理と思われる急登となる。左に金堀穴の案内板を過ぎると、急登から解放され山頂へと行く。山頂まで案内では二・三キロ約一時間とあるが、私達は一時間二十分かかった。山頂には日影大山住神社の祠があり二等三角点日影山八七九と書いてある石柱がある。山頂からは東方面が開けていて、矢大臣山、左手の方には 万太郎山や大滝根山など、林の奥の方に望む事が出来る。山頂下には休憩場所もあるが少し荒れている。お薦めはヤマツツジの咲く頃が良いと思う。一時間ほど休み下山途中 金堀穴へ足を延ばす。約五分位で行くが 案内板がなければどこか判らない。人工的に掘られたと思われる所があるだけ。一時間ほどで 午後二時には無事下山する。帰路、浮金部落方面へ町道を進むと途中キャンプ場やバンガローなど有り、夏場など利用する人が多いのかな。途中 高柴山浮金山登山口を確認して、四時帰宅する。

忘年会写真



調理中です



抽選会賞品作りです



椎原副会長の挨拶で 宴会開始



抽選会です



抽選会の目玉 1番の賞品は ダンゴ虫ザック



宴たけなわ

